

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年6月15日 (2017.6.15)

【公表番号】特表2016-518379(P2016-518379A)

【公表日】平成28年6月23日 (2016.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-038

【出願番号】特願2016-509434(P2016-509434)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/99	(2017.01)
A 6 1 K	8/64	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	27/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	9/107	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	9/00	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 K	8/99	
A 6 1 K	8/64	
A 6 1 Q	19/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	27/10	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	35/00	Z N A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年4月20日 (2017.4.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

野生型OBフォールドタンパク質のその天然リガンドへの結合界面に5から32個の変異残基を有する野生型OBフォールドタンパク質の変異体を含む、局所用組成物。

【請求項 2】

前記野生型OBフォールドタンパク質が、スルホロブス・アシドカルダリウス(*Sulfolobus acidocaldarius*)由来のSac7dまたはSac7e、スルホロブス・ソルファタリカス(*Sulfolobus solfataricus*)由来のSso7d、スルホロブス・トコダイイ(*Sulfolobus tokodaii*)由来のDBP 7、スルホロブス・シバタエ(*Sulfolobus shibatae*)由来のSsh7b、スルホロブス・シバタエ由来のSsh7a、およびスルホロブス・ソルファタリカス由来のp7ssから選択されることを特徴とする、請求項1記載の組成物。

【請求項 3】

10 mg/mlから600 mg/mlの前記変異体を含むことを特徴とする、請求項1および2のいずれか一項記載の組成物。

【請求項 4】

前記変異体が、抗原、抗体、細胞タンパク質、循環タンパク質、ペプチド、薬剤の活性成分、核酸、および特にインターロイキン、サイトカイン、サイトカインまたはインターロイキンの受容体、癌遺伝子によりコードされるタンパク質、微生物の表面タンパク質、ならびに微生物リポ多糖から選択される対象の標的に結合することを特徴とする、請求項1から3のいずれか一項記載の組成物。

【請求項 5】

皮膚に適用することが意図されていることを特徴とする、請求項1から4のいずれか一項記載の組成物。

【請求項 6】

眼レベルで適用することが意図されていることを特徴とする、請求項1から4のいずれか一項記載の組成物。

【請求項 7】

水性、油性もしくは水性-アルコール性溶液、エマルジョン、マイクロエマルジョン、水性ゲル、無水ゲル、美容液、小胞分散系、ローション、ゲル、クリーム、泡、エアロゾルまたはスプレーの形態にあることを特徴とする、請求項1から6のいずれか一項記載の組成物。

【請求項 8】

抗菌剤、抗寄生虫剤、抗真菌剤、抗炎症剤、鎮痒剤、麻酔剤、抗ウイルス剤、角質溶解剤、フリーラジカルスカベンジャー、抗脂漏剤、フケ防止剤、および抗ニキビ剤、ならびに皮膚の分化および／または増殖および／または色素沈着を調節するための作用物質から選択される少なくとも1つの作用物質も含有することを特徴とする、請求項1から7のいずれか一項記載の組成物。

【請求項 9】

皮膚または眼の障害または疾患の処置における使用のための、請求項1から8のいずれか一項記載の局所用組成物。

【請求項 10】

野生型OBフォールドタンパク質のその天然リガンドへの結合界面に5から32個の変異残基を有する野生型OBフォールドタンパク質の変異体を薬学的にまたは化粧用に許容される担体と混合する段階を含む、請求項1から9のいずれか一項記載の局所用組成物を調製するための方法。